

始めに

日本の教育は受信型で、読み手がどう考えたか等を発信することが欠けている。数学や理科など言葉で説明する練習をしていない。知識重視の日本の教育は閉ざされている。

・クリティカル・リーディング

論拠をあげて説明する。ギリシャ・ローマ時代からの伝統的な西欧の考え方。

・グローバル・コミュニケーション

異質な人とのコミュニケーション。例えば、学級崩壊している小中学生とどうやって会話するか等、価値観、感性、文化、習慣等が違う異質な人を相手にして、唯一話することが出来る土台が論理。相互に論拠を示して反論する。

ブッククラブ型授業

- ・読み、書き、ディスカッション、参加態度等も入れポートフォリオを作成する。
- ・通常授業を行った場合より、学力テストのポイントが高い。

1冊を60分で行う場合
20分...読み
20分...reading logを書く
20分...ディスカッション

reading logを書かせる前に
ミニレessonをしておく。

reading logで書かせることの例

- ・疑問点
- ・楽しかったこと
- ・面白かったこと
- ・不思議に思ったこと
- ・変だと思ったこと。
- ・etc

ブッククラブ型授業の問い

- ・予備知識
- ・解釈の問い（なぜ～？）
- ・予測読み（子どもの興味が湧く。聴いていないと答えられない。）
この後どうなるだろうと考えながら読むことを刷り込む。
- ・登場人物についてどう思う？
- ・この書き方についてどう思う？
- ・この後どうなると思う？（creative reading）
- ・あなただったらどうする？（personal reading）
- ・big question（主題に迫る質問）
例：「あのときすきになったよ」では「あのときとは何時の時点を指すか」